

●はじめに●

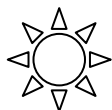
「割合」は、中学入試において大変出題頻度の高い単元となっており、基礎がしっかりと身に付いていないとなかなか解けません。

この『**基礎トコトン vol. 1 割合**』は、「割合」の基礎を徹底的に反復学習できるように作られております。したがって、基本的な問題をくり返し解くことによって、「割合」の基礎を確実に習得することができます。

本書を十二分に活用して、重要単元「割合」をマスターしてください。

本書の使い方

1. まず、各単元の**まとめ**を読んで、基本的な事項をしっかりと理解・確認しましょう。
2. **例題**で実際の解き方をきちんとおさえましょう。
3. **反復演習**の問題を解いて、答えを確認しましょう。
4. 正解した問題はチェックをして、まちがえた問題は、解き方を**例題**で確認した後にもう一度解いてみましょう。
5. 全部の問題を解き終わったら、もう一度最初からやりましょう。
6. 最後に、巻末の**総まとめテスト**で学習内容を総チェックしましょう。



基礎トコトン vol. 1 割合

第1課 倍	3
第2課 割合の3用法	7
第3課 百分率と歩合	14
第4課 割合の合成(1)	22
第5課 売買損益	32
第6課 食塩水	45
第7課 割合の合成(2)	67
第8課 還元算	71
総まとめテスト	81



第1課 倍

まとめ

A君が100円，B君が50円持っているとき……

$100 \div 50 = 2$ だから，

A君の持っているお金は，

“B君の持っているお金の2倍である”

といいます。

または，

$50 \div 100 = \frac{1}{2} (0.5)$ だから，

B君の持っているお金は，

“A君の持っているお金の $\frac{1}{2}$ 倍(0.5倍)である”

といいます。

B君の2倍がA君	A君の $\frac{1}{2}$ 倍がB君
$B \times 2 = A$	$A \times \frac{1}{2} = B$

つまり倍とは“かける”ということです。

(注) ふえるということではありません。

例題 1

50 は 10 の何倍ですか。

《解き方》

$$50 \div 10 = 5$$

答 5 倍

例題 2

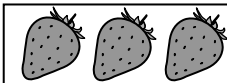
80 円の $\frac{1}{4}$ 倍はいくらですか。

《解き方》

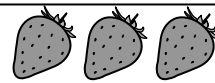
$$80 \times \frac{1}{4} = 20(\text{円})$$

答 20 円

(補足) 分数の場合, 「倍」をとって「 $\frac{1}{4}$ 」としても同じ意味です。



反復演習 倍



〔No. 1〕

1 ① 60 は 15 の 倍です。② 8 g は 20 g の 倍にあたります。③ 20 円の 3 倍は 円です。④ 160 円の 0.4 倍は 円です。2 ① 8 の 倍にあたる数は 24 です。② 12 は 40 の 倍にあたる数です。③ g は 20 g の 12 倍にあたります。④ 円は 320 円の $\frac{1}{8}$ にあたります。

[No. 1 の改題]

1 ① 52 は 13 の 倍です。

② 9 g は 15 g の 倍にあたります。

③ 40 円の 4 倍は 円です。

④ 240 円の 0.6 倍は 円です。

2 ① 12 の 倍にあたる数は 60 です。

② 16 は 64 の 倍にあたる数です。

③ g は 30 g の 13 倍にあたります。

④ 円は 420 円の $\frac{1}{6}$ にあたります。